

# 2020 年度 事業報告

学校法人桑沢学園

# 目次

学校法人桑沢学園の概要 .....	3
■ 創立者 桑澤洋子 1910年 - 1977年 .....	4
■ 東京造形大学の建学の精神及び使命 .....	5
■ 専門学校桑沢デザイン研究所の教育の趣旨 .....	5
■ 法人及び設置学校の沿革 .....	6
■ 歴代理事長 .....	7
■ 東京造形大学の概要 .....	8
■ 専門学校桑沢デザイン研究所の概要 .....	10
■ 歴代学長及び所長 .....	11
■ 役員、評議員及び職員の概要 .....	12
事業の概要 .....	14
学校法人桑沢学園の主な事業報告 .....	15
東京造形大学の主な事業報告 .....	24
専門学校桑沢デザイン研究所の主な事業報告 .....	42
中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況 .....	55
経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策 .....	56

# 学校法人桑沢学園の概要

## ■ 創立者 桑澤洋子 1910年 - 1977年

桑澤洋子は、昭和初期から建築・室内設計・服飾等のデザインジャーナリズムの世界で活躍。その中で、1919年に建築家グロピウスによってワイマールに設立された、造形芸術の総合学校「バウハウス」の存在を知り、その影響を強く受けます。

機能性や合理性を追求したデザイン活動をすすめる中で、デザインの総合的な基礎教育と専門教育の重要性を痛感した彼女は、教育機関の実現のため努力を重ね、1954年、各界気鋭の教育者、芸術家、デザイナーたちの協力を得て、当時としては画期的なデザインの専門学校「桑沢デザイン研究所」を設立しました。さらに高度な造形教育を追求する場として1966年には「東京造形大学」を設立、学長・理事長に就任しました。

試行錯誤をおそれない、しなやかさの中にも強さを持った独特の教育方法で多くの人材を育て、卒業生たちは広い領域で活躍、その業績は高く評価されています。

著書に『ふだん着のデザイナー』（1957年、平凡社）、『桑澤洋子の服飾デザイン』（1977年、婦人画報社）等。

### 【年譜】

1910年	東京神田に生まれる。本名千代、後に洋子と改名する。
1928年	女子美術学校（現・女子美術大学）師範科西洋画部に入学。
1932年	同校を卒業。
1933年	バウハウスの教育システムを取り入れていた新建築工芸学院に入学。同学院主宰者の川喜田煉七郎の紹介により『住宅』の編集を手伝う。編集者の仕事を通して、戦後活動をともしるさまざまな人々と出会う。
1937年	東京社（のちの婦人画報社）に正式に入社し、服飾関連の企画を担当する。
1940年	婦人画報編集部で、通信販売を企画し、「婦人画報サービス・ステーション」を構想する。
1942年	東京社を退社、銀座に「桑沢服飾工房」を開設し、服飾デザイナーとしての活動を本格的に開始する。しかし戦時下にあって、この時期に発表された洋子の作品は、勤労服、更生服の提案等であった。
1945年	10月に復刊した『婦人画報』に始まり、以後精力的に新しい生活のための洋服を、雑誌や講演会、ファッション・ショー等を通して提案し続ける。
1954年	桑沢デザイン研究所を創立（ドレスデザイン科とリビングデザイン科の二科編成）。大丸百貨店東京店に「桑沢洋子イージー・ウェア」を開設し、以後既製服のデザインに積極的に取り組む。
1958年	服飾界のブルー・リボン賞といわれた、日本ファッション・エディターズ・クラブ賞を受賞する。
1962年	ユニフォームの改善改良をめざしてNUC（日本ユニフォーム・センター）が結成。すでにいくつかのユニフォーム制作を手がけていた洋子は、以後多くの企業ユニフォームをデザインする。
1964年	東京オリンピックのいくつかのユニフォームを手がける。
1966年	東京造形大学を開学し、学長に就任する。
1970年	大阪万国博覧会のコンパニオン・ユニフォームを手がける。
1977年	4月12日永眠。享年66歳。

## ■ 東京造形大学の建学の精神及び使命

---

### 【建学の精神】

#### 社会をつくり出す創造的な造形活動の探究と実践

東京造形大学は、デザインや美術の創作活動を時代の精神や社会の創造に深く結び付いたものとしてとらえ、それら造形活動を広く社会的な観点から探究し、進取の気概を持って創造的に実践することを建学の精神としています。

### 【使命】

1. デザイン及び美術の諸領域における優れた専門的知識・技術の教授研究
2. 社会全体を広く総合的な視点でとらえ、社会的問題の解決に向けて取り組むことのできる人材の育成
3. 造形活動を通じた文化の創造と社会の発展への貢献

## ■ 専門学校桑沢デザイン研究所の教育の趣旨

---

### 【教育理念】

#### 未来へ向かっての人間の精神的・物質的両面からの要求に応える人材の育成

専門学校桑沢デザイン研究所は、昭和 29(1954)年の創立以来 65 年にわたる教育理念(教育目的)として、「未来へ向う人間の精神的・物質的両面からの要求に応える人材の育成」を掲げてきた。人々の生活が多様化し、また不断の変化を続ける 21 世紀の世界のなかで、この目標を達成するには、デザインという専門領域を通じて、新しい明日の生活を具現化することのできる能力を身につける必要がある。

そして、現実の制約や条件を創意の糧に転化し、自分の習得した技術や感性を使って独創的なデザインのできる人、さらに新しい社会の創造に加担できる人物、このような人材の育成を本校の教育指導上の具体的な目標としている。

## ■ 法人及び設置学校の沿革

以下に、法人及び設置学校の沿革を示します。

1954年	4月20日	桑沢デザイン研究所を設立
1957年	12月7日	学校法人桑沢学園設立認可
1958年	4月	桑沢デザイン研究所新校舎使用開始
1966年	1月26日	東京造形大学造形学部設置認可
	4月1日	東京都八王子市元八王子町に東京造形大学開設
1976年	12月9日	専門学校桑沢デザイン研究所設立認可
1981年	4月1日	東京造形大学新教育運営制度発足
1990年	6月	八王子市宇津貫町に東京造形大学の新たなキャンパス着工
1991年	12月20日	東京造形大学臨時定員増認可(1992～1998年)
1992年	4月1日	東京造形大学宇津貫キャンパス部分開校
		東京造形大学造形計画専攻、比較造形専攻新設
1993年	4月1日	東京造形大学宇津貫キャンパス移転、全面開校
1998年	4月1日	東京造形大学新教育課程実施、教育運営制度を6専攻に改編
2003年	4月1日	東京造形大学造形学部の学科構成を改編 デザイン学科9専攻領域、美術学科2専攻領域
2004年	11月30日	東京造形大学大学院造形研究科設置認可
2005年	4月1日	東京造形大学大学院造形研究科造形専攻開設(修士課程)
		東京造形大学大学院棟(12号館)使用開始
		専門学校桑沢デザイン研究所渋谷新校舎使用開始
		専門学校桑沢デザイン研究所基礎造形専攻(附帯教育)開講
2010年	9月1日	東京造形大学CSプラザ(10号館)使用開始
2011年	4月1日	東京造形大学教育課程改編、学部構成再編 デザイン学科8専攻領域、美術学科2専攻領域
2015年	10月30日	東京造形大学大学院造形研究科造形専攻博士後期課程設置認可
2016年	4月1日	東京造形大学大学院造形研究科造形専攻博士後期課程開設
		東京造形大学大学院造形研究科造形専攻修士課程に 造形教育研究領域を新設
2018年	4月1日	東京造形大学大学院棟(13号館)使用開始
2020年	4月1日	専門学校桑沢デザイン研究所基礎デザイン専攻(附帯教育)開講

## ■ 歴代理事長

---

以下に、歴代理事長を示します。

氏 名	就 任 期 間
桑澤 洋子	1957年12月～1974年5月
氣賀 健三	1974年6月～1994年5月
山本 哲也	1994年6月～1998年5月
小田 一幸	1998年6月～2014年10月
有吉 徹	2014年10月～2015年5月
田口 浩一	2015年6月～2019年5月
山際 康之	2019年7月～

## ■ 東京造形大学の概要

以下に、東京造形大学の概要を示します。

### 1. 所在地

〒192-0992 東京都八王子市宇津貫町 1556

### 2. 大学院及び学部(2020年5月1日現在)

#### 造形学部

区分	学科	専攻領域
造形学部	デザイン学科	グラフィックデザイン
		写 真
		映 画 ・ 映 像
		アニメーション
		メディアデザイン
		室内建築
		インダストリアルデザイン
	テキスタイルデザイン	
	美術学科	絵 画
彫 刻		

#### 大学院

区分	専攻	研究領域
造形研究科	造形専攻 (修士課程)	デザイン
		美 術
		造形教育
	造形専攻 (博士後期課程)	デザイン
		美 術
		造形教育

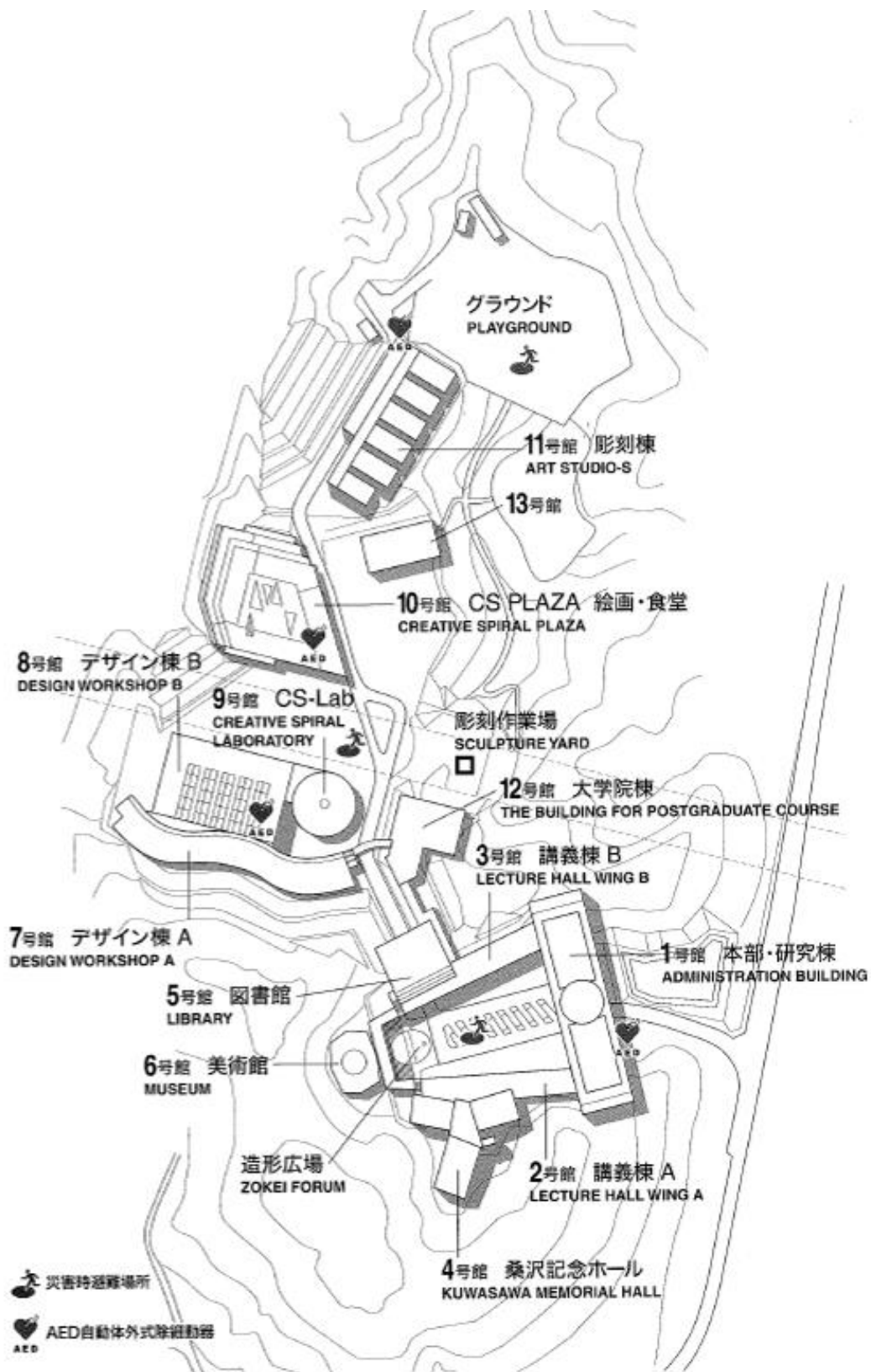
### 3. 付属機関

図書館、美術館

### 4. 学生数

区分	学科等	入学定員	収容定員	学生数
造形学部	デザイン学科	285名	1,140名	1,399名
	3年次編入	14名	28名	
	美術学科	95名	380名	393名
	3年次編入	5名	10名	
造形研究科	造形専攻	55名	115名	121名

5. キャンパス配置図



## ■ 専門学校桑沢デザイン研究所の概要

以下に、専門学校桑沢デザイン研究所の概要を示します。

### 1. 所在地

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-4-17

### 2. 課程及び学科(2020年5月1日現在)

区分	学科等	専攻、コース
デザイン専門課程	総合デザイン科 (昼間部・3年制)	ビジュアルデザイン専攻
		プロダクトデザイン専攻
		スペースデザイン専攻
		ファッションデザイン専攻
	デザイン専攻科 (夜間部・2年制)	ビジュアルデザインコース
		プロダクトデザインコース
		スペースデザインコース
		ファッションデザインコース
附帯教育	基礎造形専攻 (夜間部・1年制)	
	基礎デザイン専攻 (夜間部・1年制)	

### 3. 学生数

区分	学科等	入学定員	総定員	学生数
デザイン専門課程	総合デザイン科 (昼間部・3年制)	160名	480名	587名
	デザイン専攻科 (夜間部・2年制)	160名	320名	293名
附帯教育	基礎造形専攻 (夜間部・1年制)	40名	40名	45名
	基礎デザイン専攻 (夜間部・1年制)	40名	40名	37名

## ■ 歴代学長及び所長

---

以下に、歴代学長及び所長を示します。

### 1. 東京造形大学 学長

氏名	就任期間
桑澤 洋子	1966年1月～1973年4月
阿部 公正	1973年4月～1973年6月
明石 一男	1974年4月～1978年1月
宮田豊太郎	1978年4月～1980年3月
鈴木 二郎	1980年4月～1984年3月
豊口 協	1984年4月～1992年3月
海本 健	1992年4月～2000年3月
白澤 宏規	2000年4月～2008年3月
諏訪 敦彦	2008年4月～2013年7月
有吉 徹	2013年12月～2017年3月
山際 康之	2017年4月～

### 2. 専門学校桑沢デザイン研究所 所長

氏名	就任期間
桑澤 洋子	1954年4月～1974年5月
根田 みさ	1975年2月～1981年3月
高山正喜久	1981年4月～1987年3月
栄久庵憲司	1987年4月～1990年3月
氣質 健三	1990年4月～1993年3月
横山 徳禎	1993年4月～1996年3月
市瀬 昌昭	1996年4月～2005年3月
小田 一幸	2005年4月～2008年3月
内田 繁	2008年4月～2011年9月
浅葉 克己	2011年10月～2020年3月
工藤 強勝	2020年4月～

## ■ 役員、評議員及び職員の概要

以下に、役員、評議員及び職員の概要を示します。

### 1. 役員(理事 10 名、監事 2 名)

理事長	山際 康之	理事	生嶋 順理
理事	工藤 強勝	理事	佐藤 竜平
理事	田口 浩一	理事	大迫 修三
理事	田中 清利	理事	大橋 正芳
理事	小関 潤	監事	白井 徹
理事	森まさあき	監事	古山 正文

(2021年3月31日現在)

### 2. 役員の実任の明確化に関する事項

#### (1) 責任限定契約の状況

本学園においては、理事(理事長、業務を執行したその他の理事又はこの法人の職員でない者に限る。)又は監事(以下、「非業務執行理事等」という。)が任務を怠ったことによって生じた損害についてこの法人に対し賠償する責任は、当該非業務執行理事等が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、金1円以上であらかじめ定めた額と私立学校法において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の規定に基づく最低責任限度額とのいずれか高い額を限度とする旨の契約を非業務執行理事等と締結することができることとしています。契約を締結している非業務執行理事等は以下のとおりです。

理事	大迫 修三	監事	白井 徹
理事	大橋 正芳	監事	古山 正文

#### (2) 役員賠償責任保険契約の加入状況

加入制度	私大協 役員賠償責任保険制度(D&O マネジメントパッケージ)
加入期間	2021年4月1日~2022年4月1日
被保険者	(個人被保険者) 理事・監事、評議員、執行役員、管理職従業員、 社外派遣役員、退任役員 (記名法人) 学校法人桑沢学園
保険期間中 総支払限度額	10億円

### 3. 評議員(24名)

評議員	山際 康之	評議員	大豆生田 守
評議員	工藤 強勝	評議員	田中 敬二
評議員	田中 清利	評議員	青山 眞
評議員	小関 潤	評議員	石間 裕
評議員	森まさえ	評議員	江口 響子
評議員	生嶋 順理	評議員	大橋 正芳
評議員	佐藤 竜平	評議員	本田 圭吾
評議員	大久保 誠	評議員	吉田 憲正
評議員	中川 裕章	評議員	川辺 英明
評議員	前田 朗	評議員	野邊 伸一
評議員	守屋 秀之	評議員	佐藤 和也
評議員	遠藤 毅	評議員	南澤 義晃

(2021年3月31日現在)

### 4. 職員

法人	専任職員数 7名(役員除く)
東京造形大学	専任教員数 50名
	専任職員数 55名(嘱託含む)
専門学校桑沢デザイン研究所	専任教員数 19名
	専任職員数 22名(嘱託含む)

(2020年5月1日現在)

# 事業の概要

# 学校法人桑沢学園の主な事業報告

— 中期実行計画 2020 「財政健全化」・「戦略的経営」 —

2020年度事業計画に記載した事業及びその他事業についての実施・対応事項を示します。

## 2020年度の計画事業

- 計画的な財政運営
- 収入財源の多様化
- 経費削減の推進
- 経営のガバナンス改革
- 教学組織の意思決定・運営体制の強化
- 中期ビジョンに基づく戦略的経営
- キャンパス整備マスタープランの策定
- SD活動の推進
- 人事考課制度の導入
- 労務管理体制の強化
- 学園運営に関する情報公開の促進
- コンプライアンスの推進
- リスクマネジメント体制の強化
- その他

## ■ 計画的な財政運営

以下に、計画的な財政運営に向けた実施・対応事項を示します。

実施事項	実施内容	
基本金組入計画の立案	第2号基本金	東京造形大学 彫刻棟(11号館)建替計画 組入期間:2017年度～2026年度 組入額:総額25億円(期末残高20億972万円)
	第3号基本金	奨学資金 組入期間:2016年度～2025年度 組入額:年1億円 総額33億円(期末残高29億2,471万円) 基金の運用益の一部1,165万円を奨学資金として組入
		学事振興資金 総額3億5,994万円達成 (期末残高3億7,548万円) 基金の運用益の一部447万円を学事振興資金として組入
資産運用・蓄積計画の立案	減価償却 引当特定資産	年3億円積立 (減価償却累計額118億9,344万円、期末残高59億6,778万円) <sup>1</sup>
教職員の人件費計画 (雇用計画)の立案	人件費比率 <sup>2</sup> 50%程度を想定した雇用計画を立案	

<sup>1</sup> 2020年度決算値

<sup>2</sup> 経常収入(教育活動収入計+教育活動外収入計)に占める人件費の割合

## ■ 学生数の推移

2018年度からの学生数の推移を以下に示します。

部門	区 分	2020年度	2019年度	2018年度
		実 算	実 算	実 算
大 学	学 部	1,792	1,784	1,789
	大学院(修士)	116	118	116
	大学院(博士後期)	5	8	11
	計	1,913	1,910	1,916
研 究 所	総合デザイン科	587	582	569
	デザイン専攻科	293	275	258
	基礎造形専攻	45	45	43
	基礎デザイン専攻	37	—	—
	計	962	902	870

※実算値は、各年度5月1日時点の実数を記載

## ■ 教職員数の推移

2018年度からの教職員数の推移を以下に示します。

部 門	種 別	2020年度	2019年度	2018年度
大 学	専任教員	50	50	51
	兼務教員	263	275	293
	専任職員	55	55	53
	兼務職員	32	32	31
	計	400	412	428
研 究 所	専任教員	19	19	19
	兼務教員	231	231	234
	専任職員	22	22	22
	兼務職員	9	10	11
	計	281	282	286
法 人	専任職員	7	7	4
	兼務職員	0	0	0
	役員	12	12	12
	計	19	19	16
学 園	合計	700	713	730

※各人員数は、各年度5月1日時点の実数を記載

※兼務教員:専任教員を除く教員(非常勤教員等) 兼務職員:専任職員を除く職員(助手、臨時職員等)

役員:理事・監事(評議員は除く)

## ■ 収入財源の多様化

以下に、収入財源の多様化に向けた実施・対応事項を示します。

### 1. 補助金の獲得

#### (1) 補助金申請

2020年度等の補助金獲得実績は以下のとおりです。

部門	区分	名称	内容	
大学	私立大学等 経常費 補助金	一般補助	専任教職員数及び学生数を基に、学生定員の管理状況や学生生徒等納付金の教育研究経費等への還元状況等に応じて交付される補助金	
		特別補助	大学院等の機能の高度化	大学院における研究の充実
			授業料減免事業等支援	災害罹災学生等に対する学生納付金減免に対する補助金
	八王子市による補助金	結核予防費補助金	定期結核健康診断の費用に対する補助金	
	日本学生支援機構	新型コロナウイルス感染症対策助成事業	新型コロナウイルス感染症対策として、学生等への多種多様な経済的取り組みに対する助成金	
研究所	東京都による補助金	私立専修学校教育環境整備費助成事業	パソコンリース料及び教育環境整備に対する補助金	
		結核予防費都費補助金	定期結核健康診断の費用に対する補助金	
	東京都私学財団	私立学校情報機器整備費事業	新型コロナウイルス感染症対策として、遠隔授業実用機器の設置費用に対する補助金	
		新型コロナウイルス感染症対策助成事業	新型コロナウイルス感染症対策として、顔認証体温計導入費用に対する補助金	
	日本学生支援機構	新型コロナウイルス感染症対策助成事業	新型コロナウイルス感染症対策として、学生等への多種多様な経済的取り組みに対する助成金	

また、東京造形大学においては、私立大学等改革総合支援事業への選定に向け、各タイプを精査し、申請の可能性を検討しましたが、2020年度はいずれのタイプも採択基準を満たす見込みが立たなかったため、申請を見送りました。

#### (2) 補助金申請事務の見直し

新型コロナウイルス感染症対策として急遽設けられた補助金がありましたが、例年申請している補助金と併せ、遺漏のないよう手続きを行いました。

## 2. 寄付金の獲得

教育振興資金(寄付金)の募集にあたり、新たに以下の取り組みを実施しました。

- (1) 寄付者の利便性を高めるため WEB 受付システム導入によるクレジット決済を導入しました。
- (2) 卒業式会場において、卒業される皆様に寄付金趣意書を配付し、寄付のお願いをしました。

## 3. 経費削減の推進

---

以下に、経費削減の推進に向けた実施・対応事項を示します。

### 1. 人件費の適正化

人件費比率 50%を目標に、管理・運営体制の強化・スリム化を図りました。

※人件費比率の推移(各年度決算値)

部門	2020年度	2019年度	2018年度
桑沢学園全体	46.9%	47.5%	49.1%
東京造形大学	44.3%	45.5%	46.1%
桑沢デザイン研究所	55.1%	53.6%	61.8%

### 2. Web 給与明細の導入

Web 給与明細の導入の検討を行いました。導入まで至りませんでした。

## ■ 経営のガバナンス改革

---

以下に、経営のガバナンス改革に向けた実施・対応事項を示します。

### 1. 私立学校法改正に伴う対応の実施

私立学校法改正に必要な対応を終え、2020 年度はガバナンス・コードの策定に向けた検討を行いました。策定まで至りませんでした。

### 2. 規程管理システムの導入

規程等の制定及び改廃時の事務処理、並びに規程等を利用する際の利便性を高める等、業務の正確性の向上及び効率化を図るため、規程管理システムを導入し、稼働させました。

### 3. 顧問税理士の設置

日常的な経理業務、税務相談及び決算時における収益事業に係る業務に対応するため、学校法人会計に明るい税理士事務所と顧問契約を結びました。このことにより、今後、経理財務業務の処理軽減、また経理財務課職員のスキルアップにも資することが期待出来ます。

## ■ 教学組織の意思決定・運営体制の強化

---

教学組織の意思決定・運営体制の強化に向け、教学に関するガバナンス・コードの策定に向けた検討を行いました。

## ■ 中期ビジョンに基づく戦略的経営

---

以下に、中期ビジョンに基づく戦略的経営に向けた実施・対応事項を示します。

### 1. ビジョンに基づく計画立案

「中期ビジョン 2020」、「中期実行計画 2020」に基づき、事業計画・予算計画を立案し、実行しました。

### 2. 次期中期計画の策定に向けた検討

私立学校法改正の内容を受け、また「中期実行計画 2020」が最終年度を迎えるにあたり、次期中期計画である「桑沢学園 中期計画(Road to 2025:2021-2025)」を策定しました。

## ■ キャンパス整備マスタープランの策定

---

以下に、キャンパス整備マスタープランの策定に向けた実施・対応事項を示します。

実施校	計画の内容	備考
大学	11号館(新彫刻棟) 運用方法検討	第2号基本金組入計画(理事会承認) 彫刻専攻領域だけでなく、全専攻領域の学生が使用できる 作業スペースとしても運用する方針を検討しました。

## ■ SD活動の推進

以下に、SD 活動の推進に向けた実施・対応事項を示します。

### 1. SD 活動の実施

職員の能力及び資質向上に向け、以下の取組みを組織的に展開しました。

目的	実施校	実施項目	対象者	実施内容	備考
高度専門知識の修得	学園	新人研修 (オンライン実施)	新入 事務職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校職員基礎講座</li> <li>学校コンプライアンス講座</li> </ul>	3名参加 5月11,12日実施
		大学院への 進学助成	事務職員	桜美林大学大学院アドミニストレーション研究科(通信教育課程)への職員派遣	2名就学 (2019年度より継続)
		ハラスメント防止 研修会	全教職員	教職員のハラスメントに対する理解の促進	新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴い中止
		自己啓発研修費 助成制度	事務職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の職員が行う自己啓発研修への助成(1名当たり上限3万円)</li> </ul>	36件助成実施
	大学	日本私立大学 協会主催研修	事務局長 部課長 クラス	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局長相当者研修会</li> <li>部課長相当者研修会</li> <li>学生生活指導主務者研修会等</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴い中止
	学園	業務マニュアル	事務職員	各業務の概要・手順書・年間予定表を事務局内で作成・更新	随時実施
		職位等に応じた 研修制度	事務職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>職位や経験、業務内容に応じた研修</li> </ul>	12月 主任職以上を対象とした面接官研修を実施
大学	新潟青陵大学・ 東京造形大学 職員合同研修会	事務職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当業務別意見交換会</li> <li>外部講師による講演・グループディスカッション等</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴い中止	
人事制度改革	学園	自己管理シートの提出・業務面談の実施	事務職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>各職員が半期ごとに目標を立て、達成状況・業務成果を所属長に報告</li> <li>年に2回、所属長と課員との業務面談を実施</li> </ul>	前後期各1回以上

### 2. 職位等に応じた研修制度の導入検討

個々の職員が必要とする知識・技能の習得を促進するための、職位や経験、業務内容に応じた研修については、主任職以上を対象とした「中途採用面接官研修」を実施しました。次年度以降、他の職位向けの研修の内容を引き続き検討します。

### 3. 所属長による課員との業務面談の実施

自己管理シートの記載内容について確認・フィードバックすることを目的として、所属長による課員との業務面談を実施しました(前後期各1回以上)。所属長から課員への業務指導を行う他、コミュニケーションを図る機会として活用することが出来ました。

## ■ 人事考課制度の導入

---

専門業者が提供する「人事・評価制度構築支援サービス」を活用し、本学園に適合する人事考課制度の導入に向けた検討を行うこととしておりましたが、事務組織改編を1年先送りにしたこと等から、導入に向けた検討は次年度に先送りすることとしました。

## ■ 労務管理体制の強化

---

以下に、労務管理体制の強化に向けた実施・対応事項を示します。

### 1. 労務管理の適正化・迅速化

労務管理業務の効率化を図るため、新たな労務管理システムの運用を開始し、運用している中で必要な見直しを行いました。

### 2. 労働環境の改善

働き方改革関連法に対応するため、学内関連規程の改正を行ったことに加え、本学園独自の制度も導入し、働きやすい環境の整備に取り組みました。

## ■ 学園運営に関する情報公開の促進

---

以下に、学校運営に関する情報公開の促進に向けた実施・対応事項を示します。

### 1. 学校運営に関する各種情報公開

私立学校法改正の内容に基づき、以下の情報を公開しました。

- ・ 2019 年度事業報告・決算報告
- ・ 2020 年度事業計画・予算計画
- ・ 学校法人桑沢学園寄附行為
- ・ 役員等名簿
- ・ 役員に対する報酬等の支給の基準

## 2. 桑沢学事振興資金(第3号基本金引当特定資産の運用益による学事振興資金事業)

以下の1件の学事振興資金事業を助成しました。

実施者(代表)	事業名	備考
山本 恵子 東京造形大学教員	第12回「台北ビエンナーレ」の視察・研究	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
近藤 昌美 東京造形大学教員	北京と上海の中国先端のアートシーンの視察	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
石賀 直之 東京造形大学教員	クリチバ(ブラジル)日本領事館主催 幼稚園小学校を対象とした日本文化に関する普及事業	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
鈴木 一成 桑沢デザイン研究所 教員	西武百貨店渋谷店連携企画「デザインは死なない」の開催	11月3日 ～11月23日

## 3. 桑沢奨学資金(第3号基本金引当特定資産の運用益による奨学資金事業)

以下のとおり奨学金を給付しました。

区分	名称	奨学金の概要	給付者数	給付額(1人当たり)
大学	年間優秀奨学金	学業優秀者への奨学金授与	30名 (学部2～4年生)	20万円
	大学院修士課程優秀奨学金		10名 (修士課程1,2年生)	40万円 (授業料より減免)
	大学院博士後期課程優秀奨学金		3名 (博士後期課程1～3年生)	50万円 (授業料より減免)
	大学院修士課程研究奨学金		9名 (修士課程1,2年生)	30万円
	大学院修士課程特待奨学金		2名 (修士課程1,2年生)	145万円 (授業料より減免)
	学長賞	社会的に高い評価を受けた学生への奨学金授与	-	2020年度 該当者なし
	派遣留学生奨学金	海外協定校へ派遣される学生への奨学金授与	-	2020年度 該当者なし
	兄弟姉妹在籍授業料減額制度	正規の課程に同時に兄弟姉妹が在籍する場合の奨学金授与	2名(1組)	30万円 (授業料より減免)

研 究 所	学業優秀者奨学金	学業優秀者への 記念品授与	11名 (総合デザイン科3年生)	記念品授与
	特待生奨学金	学業優秀者への 奨学金授与	15名 (総合デザイン科2,3年生、 デザイン専攻科2年生)	総合デザイン科2,3年生: 20万円 デザイン専攻科2年生: 10万円
	修学支援奨学金	日本学生支援機構奨 学金の貸与を受ける 学業優秀者への奨学 金授与	44名 (総合デザイン科1,2年生、 デザイン専攻科1年生)	総合デザイン科1,2年生: 10~40万円 デザイン専攻科1年生: 5~20万円

## ■ コンプライアンスの推進

以下に、コンプライアンスの推進に向けた実施・対応事項を示します。

### 1. 内部監査の実施

内部監査担当職員を配置し、学内業務が法令や学内規程を遵守して行われているか、内部監査を実施しました。

### 2. コンプライアンスの推進に向けた環境整備

コンプライアンスの推進に関する取り組みを実施するため、コンプライアンス室を設置し、「学校法人桑沢学園 コンプライアンス推進規程」を制定しました。

## ■ リスクマネジメント体制の強化

学生や教職員の安全を確保するため、以下を実施します。

### 1. 防災の強化に向けた取り組み

災害時の対応や避難場所・避難経路を確認するための避難訓練(年1回、大学・研究所)、また研究所においては併せて初期消火訓練の実施を予定していましたが、コロナ禍のため中止としました。

### 2. 私立学校経営者(役員)の損害賠償責任保険への加入

私立学校法に役員(役員)の損害賠償責任が新たに規定されたことに備え、役員(役員)の損害賠償責任保険に加入しました。

## ■ その他

### 被災学生支援

東日本大震災等の災害救助法適用地域に居住する世帯の学生を対象とし、最短の修業年限の間、被災状況に応じて以下のとおり学生納付金を減免しました。

実施校	対象者数	備考
東京造形大学	3名	・東北地方太平洋沖地震

# 東京造形大学の主な事業報告

— 中期実行計画 2020「教育改革」・「戦略的運営」 —

2020年度事業計画に記載した事業及びその他事業について実施・対応事項を示します。

## 2020年度の計画事業

- 学生募集の強化
- キャリア支援の強化
- 教育力の強化
- 研究の研鑽
- 学生サポートの充実
- 国際交流の推進
- 社会連携・貢献の強化
- ブランド戦略の強化
- キャンパス整備
- 自己点検・評価の取り組み

## ■ 学生募集の強化

以下に、学生募集の強化に向けた実施・対応事項を示します。

### 1. 2021年度入試結果(2020年度実施)

#### (1) 造形学部

特別選抜(総合型・学校推薦型・外国人留学生)入試、一般選抜入試

専攻領域	募集人員	入学者数		
		総合型/学校推薦型 /外国人留学生	一般選抜入試	合計
グラフィックデザイン	85	49	45	94
写真	21	8	10	18
映画・映像	30	13	24	37
アニメーション	33	32	23	55
メディアデザイン	30	8	28	36
室内建築	30	16	15	31
インダストリアルデザイン	32	14	29	43
テキスタイルデザイン	24	11	9	20
絵画	70	40	40	80
彫刻	25	8	15	23
学部合計	380	199	238	437

編入学試験(3年次)

専攻領域	募集人員	入学者数
グラフィックデザイン	14	1
写真		5
映画・映像		0
アニメーション		0
メディアデザイン		0
室内建築		4
インダストリアルデザイン		2
テキスタイルデザイン		1
絵画	5	1
彫刻		0
学部合計	19	14

(2) 大学院造形研究科

修士課程

研究領域	募集人員	入学者数			
		学内推薦選抜	A日程	B日程	合計
デザイン	50	7	21	10	38
美術		2		15	17
造形教育		0	4	3	7
研究科合計	50	9	25	28	62

博士後期課程

研究領域	募集人員	入学者数
デザイン	5	0
美術		2
造形教育		0
研究科合計	5	2

## 2. 学生募集活動

以下のとおり対面活動を重視した学生募集活動を実施しました。なお、2020年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、従来の対面活動に加え、新たにオンラインを活用した学生募集活動を実施しました。

区分	実施項目	活動内容
学外活動	高校訪問 高校内ガイダンス 模擬授業 体験授業	高校1～3年生を対象とした学校説明会の実施
	予備校訪問 予備校内説明会 ワークショップ	予備校生及び予備校講師に向けた説明会及びワークショップの実施
	進学相談会	業者主催の進学相談会(ブース形式)への参加
学内活動	大学見学 (個別対応)	本学の概要説明、志望する領域の関連施設の案内(土・日・祝日は資料を渡しての自由見学)
	高校団体による 見学会	学内施設・教育設備を紹介、授業見学、教員による専攻領域紹介等
	専攻領域説明会	6月に録画動画の配信によるオンデマンド形式で開催(1回)
	オープン キャンパス	8月に完全予約制で開催(1回)
	オンライン 進学相談	進路支援課スタッフによる個別の進学相談
	オンライン 入試説明会	進路支援課スタッフによる入試概要の説明をオンライン配信

## 3. 広報機能の強化

以下のとおり広報機能の強化に向けた活動を実施しました。

- (1) YouTube 公式チャンネルを活用した情報発信。

「各種入試実施概要」、「機械工房の各種機器紹介」、「専攻領域説明会各専攻紹介」、「大学院進学ガイダンス」、「留学生説明会」、「2021年度新入生オリエンテーション」などの学内関係者向け限定公開含め 32本の動画を公開しました。

\* 2021年4月14日現在チャンネル登録者数 367名(2020年4月123名)

- (2) 広報用の記録撮影を実施

広報用素材の蓄積を目的として、本学の教育研究活動の記録撮影をプロのカメラマンに依頼し実施しました。

- (3) 大学概要紹介冊子の制作、発行  
主に企業や他大学関係者等本学来校者配付用として、本学への理解を深めてもらうことを目的とした冊子を制作、発行しました。
- (4) 2021年度版大学案内の発行及び2022年度版の制作  
学生募集活動における重要なツールのひとつである「大学案内」について、印刷物の特性を活かした本学ならではの魅力ある冊子として制作しました。
- (5) プレスリリース配信代行業者利用による情報発信  
外部業者のネットワークを活用した情報の拡散により、本学関連のニュースの露出拡大に努めました。
- (6) 各種広告媒体の活用による広報  
交通、新聞、雑誌、Web など各広告媒体の特性を考慮した広告出稿を行い、本学への興味関心度及び認知度の向上を図りました。
- (7) SNS (Social Network Service) の活用  
「東京造形大学公式 facebook」・「東京造形大学現代創造センターfacebook」・「東京造形大学附属美術館公式 facebook」・「東京造形大学公式 instagram」・「東京造形大学附属美術館公式 instagram」・「東京造形大学公式 twitter」・「東京造形大学附属美術館公式 twitter」を通じて、在学生・卒業生・教員の活動を広く学内外に発信しました。

大学公式 SNS フォロワー数の推移 (名)

	2021年4月	2020年4月	2019年4月	2018年3月	2017年8月
大学公式 facebook	1,218	1,109	926	611	351
大学公式 instagram	3,264	2,684	1,948	1,012	451
大学公式 twitter	2,275	1,695	1,023	232	—

#### 4. 外国人留学生選抜入試の新設

従来の A0 入試及び一般入試で外国人留学生の志願者が急増していることに伴い、グローバル人材へ開かれた入試制度として外国人留学生選抜入試を新設しました。

#### 5. 一般選抜入試デザイン学科実技試験科目の新設

普通科や工業科の高校生(高校の授業や美術予備校などでデッサンや平面構成の指導を受けていない高校生)を対象として想定した実技試験「発想力」を新設しました。

## ■ キャリア支援の強化

キャリア支援の強化に向けた実施・対応事項を示します。

### 1. 2020年度就職率(就職者/就職希望者)

就職率は以下のとおりです。

#### (1) 造形学部

学科/専攻領域		2021年3月卒業生 (2021年5月1日時点)				2020年3月卒業生 (2020年5月1日時点)			
		就職率	就職者	希望者	学生数	就職率	就職者	希望者	学生数
デザイン学科	GD	74.6%	47	63	81	77.6%	52	67	87
	写真	85.7%	12	14	31	62.5%	5	8	18
	映画	80.0%	12	15	28	75.0%	12	16	34
	アニメーション	92.3%	24	26	40	45.8%	11	24	36
	メディア	75.9%	22	29	40	73.3%	22	30	34
	室建	93.3%	14	15	29	82.6%	19	23	30
	ID	68.0%	17	25	34	85.7%	24	28	39
	TD	52.9%	9	17	26	86.7%	13	15	23
学科合計		77.0%	157	204	309	74.9%	158	211	301
美術学科	絵画	67.5%	25	37	70	79.1%	34	43	73
	彫刻	80.0%	4	5	14	71.4%	5	7	15
	学科合計	69.0%	29	42	84	78.0%	39	52	88
合計		75.6%	186	246	393	75.5%	197	261	389

#### (2) 大学院造形研究科(修士課程)

研究領域		2021年3月卒業生 (2021年5月1日時点)				2020年3月卒業生 (2020年5月1日時点)			
		就職率	就職者	希望者	学生数	就職率	就職者	希望者	学生数
造形研究科	デザイン	37.0%	10	27	41	29.4%	10	34	40
	美術	25.0%	1	4	14	100%	3	3	7
	造形教育	50.0%	1	2	4	75.0%	3	4	9
	合計	36.4%	12	33	59	39.0%	16	41	56

(3) 大学院造形研究科(博士後期課程)

研究領域		2021年3月卒業生 (2021年5月1日時点)				2020年3月卒業生 (2020年5月1日時点)			
		就職率	就職者	希望者	学生数	就職率	就職者	希望者	学生数
造形研究科	デザイン	-	0	0	0	100%	1	1	1
	美術	-	0	0	0	-	0	0	2
	造形教育	-	0	0	0	100%	1	1	1
	合計	-	0	0	0	100%	2	2	4

※就職者数は正社員、契約社員、派遣社員、業務請負をカウント

※ 補足 2020年度進学率(進学者/卒業者)

進学率は以下のとおりです。

(1) 造形学部

学科	2021年3月卒業生 (2021年5月1日時点)				2020年3月卒業生 (2020年5月1日時点)			
	進学率	大学院 修士課程 進学者数	その他の 進学者数	卒業者数	就職率	大学院 修士課程 進学者数	その他の 進学者数	卒業者数
デザイン	3.9%	8	4	309	6%	13	5	301
美術	10.7%	9	0	84	9.1%	8	0	88
合計	5.3%	17	4	393	6.7%	21	5	389

(2) 大学院造形研究科(修士課程)

研究科	2021年3月卒業生 (2021年5月1日時点)				2020年3月卒業生 (2020年5月1日時点)			
	進学率	大学院 博士課程 進学者数	その他の 進学者数	卒業者数	就職率	大学院 博士課程 進学者数	その他の 進学者数	卒業者数
造形	5.1%	0	3	59	3.6%	1	1	56
合計	5.1%	0	3	59	3.6%	1	1	56

## 2. キャリア開発支援プログラム(正課外)の実施

以下のキャリア開発支援プログラムを実施しました。なお、2020年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、録画配信や Google Meet を活用したオンラインによる開催形式を取り入れて実施しました。

実施項目	実施内容
就職対策講座	キャリアガイダンス、エントリーシート作成指導、自己分析、マナー面接対策、グループディスカッション講座、SPI試験対策等
ポートフォリオ作成指導	ポートフォリオの作り方講座、ポートフォリオ閲覧会等
業界研究セミナー	広告・ゲーム・アニメ業界等企業研究セミナー等
各種資格検定	SPI模擬テスト
低学年向け就職講座	学部1、2年生を対象としたキャリアデザイン講座
会社説明会 インターンシップ説明会	学内での個別会社説明会(業界説明会を含む) 学内での企業インターンシップ説明会
合同企業説明会	・4美術大学オンライン合同説明会(3月2日) (東京造形大学、武蔵野美術大学、女子美術大学、 多摩美術大学) ・造形大生のための合同企業フェスタ(3月3日・4日・5日)

## 3. キャリア支援室の利用促進

教学支援システム「GAKUEN」の就職支援機能を活用し、学生宛一斉メールの発信等を通じてキャリア支援室の認知度向上を図りました。また、Google Meetを活用したオンラインでの進路・就職相談予約の仕組みを構築し、学生一人ひとりに応じた助言・サポートを行いました。ポートフォリオの閲覧についても、キャリア支援室内にて3密環境を回避し、ソーシャルディスタンスを確保して学生対応を行いました。

## ■ 教育力の強化

以下に、教育力の強化に向けた実施・対応事項を示します。

### 1. 教育課程改革

2018年度からの新教育課程運用3年目となり、3年生以上の学年が履修する科目、2021年度の完成年度に向けた運用案を作成しました。

- ① 「プロジェクト科目」の開講基準の改善を図りました。
- ② 新教育課程における「ゼミナール」(3～4年次で自由に選択必修)の履修を滞りなく実施しました。
- ③ 教職課程再課程認定後の新しい教職課程の運用を滞りなく開始しました。

### 2. 学力の保証・教育の質保証

#### (1) 遠隔授業の実施

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、急遽、遠隔授業を実施しました。Google社のG Suite Enterprise for Educationの利用と、課題制作に必要な資料等の発送をtoolsに委託することで、美術系大学での学びを止めることなく授業を行いました。また、遠隔授業の実施に伴い、遠隔授業のメリットを生かした教育運営を実施しました。

#### (2) 授業評価アンケートの実施

授業評価アンケートを前期・後期に実施しました。2020年度は遠隔授業中心の授業運営であったため、CampusNetのアンケート機能を利用し、コストを削減しながら問題なく実施できました。

#### (3) 遠隔授業に関するアンケートの実施

2020年度に急遽実施した遠隔授業に対する①教員の意見、②学生の意見をそれぞれアンケートで確認し、要望、苦情などのうち、対応可能なところから改善を図りました。

#### (4) クリエイティブスタディガイドの配付

学修のガイドブックであるクリエイティブスタディガイドを新入生に配付し、1年次必修指定科目である「日本語表現法」の担当教員より内容を説明して学修の動機付けを図り、大学での学びに関する基本的な考え方を周知しました。

### 3. FD活動の実施

以下のFD活動を実施しました。なお、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、FD研修会は講義形式の録画映像をオンデマンド配信する形式とし、受講後に質問を取りまとめて講師に回答をいただくことで研修効果を高めました。また、授業評価アンケートも、従来のマークシート方式ではなく、CampusNetのアンケート機能を用いて実施しました。

実施項目	実施内容
FD 研修会	発達障害のある学生の理解と対応 ～コロナ禍における修学支援～
授業評価アンケート	アンケート結果を担当教員へ開示し、 学生からの指摘事項に対する改善を要請

#### 4. 学修成果の発信強化

##### (1) Z0KEI展(卒業制作展)の開催

コロナ禍における安全確保・感染予防対策として、Z0KEI展は一般来場者の見学を中止し、Webサイトでの公開としました。公開期間を3月31日まで設定したことで、26万超のページビューとなり、海外からの問い合わせがあるなど従来にはなかった効果も生じています。

##### (2) 東京五美術大学連合卒業・修了制作展の開催

新型コロナウイルス感染症の影響で緊急事態宣言下での開催となりましたが、幹事校として感染予防措置を講じ、特に大きなトラブル等もなく全日程を全うしました。来場者総数は31,556名で、前年度のカウントより11,163名減少していますが、2019年度は5大学それぞれの入場者数をカウントしたため重複を考慮すると実人数は10,000名程度であったのに対し、2020年度は1F・2Fのフロアごとにカウントしており、実人数は17,000名程度であり、およそ7,000名程度増加したものと考えられます。また、来場できない方が多数見込まれたためWebサイトでの一般公開を併用し、4万2千超のページビューがありました。

#### 5. 教育研究成果の発信強化

本学の教育研究成果の発信に向け、以下の事業を実施しました。

事業名称	実施代表者 (専攻領域)	概要
「Foodesign project」 食とデザインの 新しい関係性の提案 『メタモルフード展』	酒井俊彦 (インダストリアル デザイン)	食分野へのデザイナーの関与を、現代のニーズに基づきもう一步踏み込んで、「食べ物」自体に広げていく新しい試みの成果を展示する。 開催場所:渋谷パルコ1F COMINGSOON! 開催時期:10月
「会津プロジェクト」祈 りのかたち 『祈りのかたち展』	森田敏昭 (大学院)	会津若松市にある企業との産学連携により、院生ならではの新しいプロダクトやサービスの提案などの企画の成果発表展を行う。 開催場所:Aiiima2(渋谷ヒカリエ8階) 開催時期:3月
東京造形大学- パナソニック- Forbo Flooring BV 連携プロジェクト 『リノリウムの新しい使 い方展』	森田敏昭 (大学院)	企業と連携し、リノリウム素材を使用した家具や雑貨によってインタラクティブな環境を表現し、これからのライフスタイルの提案を行う。 開催場所:Aiiima2(渋谷ヒカリエ8階) 開催時期:3月
『ZAA 東京造形大学ア ニメーション専攻アー カイブス(anizo.com)』 の開設	和田敏克 (アニメ)	アニメーション専攻領域で集積された歴史的記録やその作品群といった貴重で膨大な教育の実績を、より広くかつ恒久的に伝えるため、チャンネルサイトを立ち上げる。あわせて資料展示企画やワークショップの開催を実施する。 開設時期:3月

## ■ 研究の研鑽

研究の研鑽に向け、以下を実施しました。

### 1. 「教育研究助成金制度」の運用

学術研究の更なる推進を図るために、研究助成枠を継続的に運用し、以下の事業を実施しました（一部コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった研究を含む）。

#### 2020年度 教育研究助成事業 研究テーマ一覧

助成対象者	研究テーマ
Zokei Da Vinci Project 全成果の記録と公開	池上英洋 (教養科目)
アジアのシティ・スケープの研究(コロナの影響により実施せず)	上田知正 (室内建築)
東京造形大学における特別講義アーカイブスの作成とその教育と研究への利活用に関する予備的研究(2)	小出正志 (アニメーション)
創造主義を支えるシステムの顕在化	小林貴史 (教職課程)
教育研究の一環として都心の画廊での本学学生が参加する展覧会を企画する	近藤昌美 (絵画)
「危機なき時代」のバルタージュ (実施せず)	清水哲朗 (絵画)
高田唯准教授の中国展示、作品集制作及び、それに関わるイベント活動(中国とのアート・デザイン交流による未来の教育の可能性を探る)(コロナの影響により実施せず)	高田唯 (グラフィックデザイン)
自然景観の原初性が想起させる人間の野生との共時性について	中里和人 (写真)
彫刻における人間像の現代性の考察 ー空間、色紙、線ー 『ミニマリズム以降の人間彫刻』出版	藤井匡 (教養科目)
『憲法9条再入門』出版	前田朗 (教養科目)
国際協力分野における造形美術の普及のための書籍出版・編集 「ARTで国際協力 ー世界中に『どこでもドア』をつくろう!」	山田猛 (教職課程)

### 2. 地域に根差した研究の推進

八王子市を中心に社会・地域との連携を強化し、教育研究や地域貢献につながる取り組みを継続して実施しました。

事業名	委託元
八王子高齢者支援団体PR動画制作	八王子市
NENGA DESIGN COMPETITION	(株)山櫻
東京2020大会に向けたアートプロジェクト	八王子市

### 3. 学術機関リポジトリ<sup>3</sup>による研究成果発信

美術やデザインなどの関連する分野の教育・研究活動に貢献することを目指し、本学の研究成果である「東京造形大学研究報」等を電子的に備蓄・保存し、かつ社会に発信しました。

### 4. コンプライアンス研修会及び科研費説明会の実施

研究活動における不正行為への対応等に関するガイドラインを踏まえた研修会及び科学研究費の獲得を図るための申請方法等に関する説明会を実施する予定でしたが、資料配布・研究倫理eラーニングの受講案内をしました。

### 5. サバティカル制度の充実

研修終了報告書をより実質化するための検討を進めた結果、2019年度から研究報への投稿及び、2020年度から制度を取得した研究者には、研究成果報告会において当該研修の成果発表を義務付けることとしました。

### 6. 教育研究資料の整備

寄贈資料や収蔵資料を本学の教育研究活動に役立てるために、大学附属美術館の収蔵品、寄贈資料及び大学附属図書館の収蔵書籍・資料の整備(保存環境改善、リスト化等)を実施しました。

---

<sup>3</sup> 研究機関が論文等を電子的形態で集積・保存・公開するために設置する電子アーカイブシステム

## ■ 学生サポートの充実

学生サポートの充実に向け、以下を実施しました。

### 1. 教学支援システム「GAKUEN」シリーズの安定的な運用

急遽決まった遠隔授業の実施において、CampusNetの学修支援機能を効果的に利用した授業運営が実施できました。

通常のシステム処理では、履修登録、成績査定、学期末処理などシステム運用の負荷が高い処理日にメーカーサポートを受け、安定的に運用できました。

### 2. 全学的なサポート体制の構築

全学的なサポート体制の構築を図るために、以下を実施しました。

実施項目	実施内容
障害のある学生に対する学内支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ボランティア学生の確保</li><li>・ 合理的配慮の実施学生への継続的支援</li><li>・ 福祉車両レンタル 等</li></ul>
学生相談への対応強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・ カウンセラー・ミーティング (カウンセリングルームとの情報交換会)の実施</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ カウンセリングルームの環境整備</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 精神科医との校医契約</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 助手の運用改善を実施</li></ul>
学生の経済環境の整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医務室の環境整備</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ アルバイト紹介の外部委託によるサービス内容、体制の強化</li></ul>
リテンション率の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 休学・退学希望者と教員の面談</li><li>・ 英語プレイスメントテストの結果に基づくクラス分けとクラス別ミーティングの実施</li><li>・ 保護者への出欠情報提供(Campus Net)</li><li>・ 連続欠席学生への職員からの電話連絡</li></ul>

### 3. 被災学生支援

東日本大震災等の災害救助法適用地域に居住する世帯の学生を対象として、最短の修業年限の間、被災状況に応じ継続的に学費を減免しています。2020年度は、3名の学費減免を行いました

## ■ 国際交流の推進

以下に、国際化の推進に向けた実施・対応事項を示します。

### 1. 交換留学生受入体制の強化

新型コロナウイルス感染症の拡大により各協定校からの受入は中止しましたが、各協定校担当者と現在の状況、本学への交換留学希望者などの情報交換をし、次回受入に向けての検討を進めました。

### 2. 交換留学生サポート体制の強化

協定校が本学留学中に交換留学生へ求める単位数を満たすために、現在開講されている交換留学生向け授業の追加、または現行の授業履修単位数を増やすことについて検討しましたが、実施には時間を要するため、前期まで滞在していた交換留学生については、単位数ではなく、出席した授業時間数の証明書を発行することで対応しました。受入が再開した場合、一定の単位を必要とする協定校からの交換留学生については、開講する授業数や修得できる単位を増やせるまで、同様の対応をしていきます。

## ■ 社会連携・貢献の強化

以下に、社会連携・貢献の強化に向けた実施・対応事項を示します。

### 1. 接続教育プログラムの充実

小・中・高・大連携事業の一環として、各学校からの依頼に応じて「接続教育プログラム」(現在のプログラム数:14)を行っています。2020年度は新型コロナウイルスの影響により実施を見送りました。

### 2. 知的財産を活用したビジネスモデルの構築

教員が創作し、本学園が意匠登録したデザインについて、知的財産の活用をサポートする団体や企業等の協力者を得つつ、美術系大学ならではの知的財産活用ビジネスモデルの構築に関する検討を進めました。

### 3. 受託共同研究事業、社会連携事業事例

受託共同研究等事業(5事業)、その他社会連携事業(31事業)を実施しました。主なものを以下に示します。

事業名	内容	提携先
住民主体による高齢者支援団体のプロモーションコンテンツ制作研究	八王子市福祉部高齢者福祉課と連携し、市内の生活支援活動を行なっている団体のPR動画作りを行なった。	八王子市
東京2020大会に向けたアートプロジェクト	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化事業を実施し、文化芸術を通じ東京2020大会の機運醸成を図る。	八王子市

<p>NINGA DESIGN COMPETITION 2022 (NDC2022)</p>	<p>株式会社山櫻が販売する年賀状のデザインコンペ。(商品価値を高める年賀状デザインの開発)。グラフィックデザイン専攻領域2年生を対象に夏休みの制作課題とし、山櫻よりオリエン、クレデンシャル、マーケティングなど内容の提供を受ける。販売製品化できる作品を作る。授賞式も執り行っている。</p> <p>※2020年度は学生への内容説明、作品募集、授賞式はすべてオンラインで行った。</p>	<p>株式会社山櫻</p>
<p>未来の「祈りの形」の研究並びに提案</p>	<p>祈りの形を、会津伝統産業を用いて提案する。</p>	<p>株式会社保志</p>
<p>八王子みなみ野ウインター・イルミネーション</p>	<p>みなみ野各町会や学校ごとに1本のイルミネーションツリーを装飾するイベント。本学は駅前メインストリートの8本と大通りに向かう植栽内の4本を担当。6月までに現地調査、企画集約、7月に企画プレゼン、8月に試作品プレゼン、9月に実施計画プレゼン、9-11月アトリエ内制作、11月末に現地設営、12月初頭に点灯式、1月中旬に撤収というスケジュール。</p>	<p>八王子みなみ野駅前イルミネーション実行委員会</p>
<p>スペダギ・バンブーバイクプロジェクト</p>	<p>一般社団法人Spedagi Japanと連携し、地域資源を活用したものづくりやコトづくりを通して地域の持続性を向上させる取り組み。特に竹を活用した子ども用ランバイクを開発し、ランバイクや竹を活用したモノづくりワークショップを開催している。</p>	<p>一般社団法人 Spedagi Japan</p>
<p>旭児童クラブ造形工作プログラム 回して遊ぼう「まわりリース」</p>	<p>アートラボはしもとが実施するアウトリーチプログラムに連携し、東京造形大学小林ゼミの学生の实践活动として、相模原市の旭児童クラブで工作プログラムを実施した。</p> <p>紙皿二枚を素材としたクリスマスリース制作の活動を学生が企画し、準備をアートラボはしもとで行った。児童クラブでの活動当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での実施を行わず、活動のための材料と用具ならびに導入動画を用意し、同クラブの職員が指示書をもとに児童の指導を行った。同時に児童クラブの2つの教室からライブ配信を行い、アートラボはしもとで待機した学生はオンラインで児童の活動を共有した。</p>	<p>アートラボはしもと</p>

<p>さがまちカレッジ公開講座</p>	<p>本学が加盟するさがまちコンソーシアムの事業への参加。 「日焼け止めクリームで自分の描いたイラストがうつる?! 家族で一緒に使うオリジナルエコバックを作ろう!」を提供</p>	<p>さがまち コンソーシアム</p>
<p>富士山テキスタイルプロジェクト</p>	<p>新しいテキスタイルプロダクトの開発・販売を目指す産学協同開発プロジェクト。</p>	<p>富士吉田市・西桂市の織物メーカー</p>
<p>ネクスト・ワークプレイスの研究と提案</p>	<p>明日のワークプレイスにおける、新しいワークスタイルを前提とした個環境を支援する家具、装置、環境等を、オフィス家具メーカーであるコクヨ株式会社と協働で、そのコンセプトならびに具体的な家具、装置、環境等の提案を行った。</p>	<p>コクヨ株式会社</p>
<p>Hachioji 影絵プロジェクト</p>	<p>江戸後期から昭和初期まで大衆娯楽として流行し、特に八王子地域で盛んであった伝統芸能「写し絵」の再現を契機に、映写機（風呂）を復元し、伝統の中に現代的な解釈や映像表現を取り入れたオリジナル作品による公演とワークショップを展開し、デザインとアートを通じた地域社会との交流を実践。地域社会の歴史や文化、自然景観などを題材にオリジナルシナリオを制作。今年度は昨年度の演目を継続させ、小泉八雲の怪談「雪女」を原案にした「氷穴への旅 雪女2020」を上演。公演は11月長野県小諸市読書の森、12月青梅市ギャラリー繭蔵で開催した。八王子市学園都市文化ふれあい財団の依頼を受け、学園都市センターにて市民の方々との交流を通じたワークショップを開催した。</p>	<p>小諸市教育員会、小諸観光局、NPO法人本途人舎、こもろ情報広場、虔十公園林の会、青梅市、ダイニング&amp;ギャラリー繭蔵、八王子市学園都市文化ふれあい財団</p>
<p>エジプト就学前教育(造形美術)プロジェクト</p>	<p>JICAの派遣専門家(エジプト:就学前教育)神谷哲郎氏からの依頼を受け、現在各派遣国からコロナ対応で一時的帰国待機中のJICA海外協力隊の幼児教育と美術関係の有志によるプロジェクトチームを結成し、エジプトの就学前教育で活用するための造形活動の題材集(動画を含む)を印刷製本し配布する活動を実施中。教員と山田ゼミナールの任意参加の学生3名も参加し、リモート会議出席、題材集やその活用方法等の動画作成にあたっている。</p>	<p>独立行政法人JICA国際協力機構</p>

## ■ ブランド戦略の強化

以下に、ブランド戦略の強化に向けた実施・対応事項を示します。

### 1. ブランドイメージの構築

PR会社との協働

- (1) 本学のリブランディング計画及び広報活動計画立案に向けた検討を PR 会社との協働により進め、タグラインを組み合わせた本学のイメージの形成を図っていくための施策として、専攻領域のプロモーション動画を制作しました。
- (2) ロゴマーク運用方法の見直し  
大学ロゴ及びロゴタイプの刷新に伴う活動として、各種広告やステーションナリー等への更新を段階的に行い、本学に対するイメージの浸透を図りました。

### 2. 展覧会・ワークショップの開催

美術館にて以下の展覧会を開催しました。

名称	期間	内容	来場者
東京造形大学 第 6 回助手展	3 月 17 日 ～4 月 20 日	教育運営や学修のサポートを行う助手による展覧会	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
ZOKEI 賞 選抜作品展	10 月 12 日 ～ 12 月 4 日	2019 年度の卒業制作展で、ZOKEI 賞を受賞した優秀作品の中から、美術館で選抜した学生の作品を展示(会期と開館時間を短縮して実施)	235 名
浅葉克己展	9 月 7 日 ～10 月 7 日	教員による企画展を開催予定	新型コロナウイルス感染症拡大のため延期
高橋淑人教授 退職記念展	10 月 28 日 ～11 月 28 日	2019 年度に本学を定年退職する教員の退職記念展。長年にわたり教鞭をとり後進の育成に携わった、美術学科絵画専攻領域高橋教授の作品を展示	新型コロナウイルス感染症拡大のため延期

※このほか、大学院研究成果発表展など、教育活動に関連する展示を多数行っています。

## ■ キャンパス整備

学修環境及び学生生活環境の改善及び充実、ICT環境の整備を図るために、以下を実施しました。

目的	実施項目	備考
学修 環境整備	アドビシステムズ 包括契約更新 (1年目) (student option)	学生に対するAdobe社ソフトウェア無償ライセンス取得 (Photoshop、Illustrator、InDesign、Premiere Pro等)の 使用許諾一括契約(学部生・大学院生対象)
	教室の仕様変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>7-401~405教室(PC教室)デジタルワイヤレス音声一式設置</li> <li>テキスタイル教室作業用イス130台設置</li> <li>テキスタイル教室4Kモニター壁面設置</li> </ul>
	機材の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>高性能デジタルカメラの導入</li> <li>7-105教室光造形方式3Dプリンタ設置</li> <li>7-105教室産業用ハイエンド3Dプリンタ設置</li> <li>7-403・404 教室、アニメーション教室、コンピュータ管理室、大学院のWinPC更新(79台)</li> <li>7-404 教室へMacPC増台(51台)し、Win・Mac併設教室化</li> <li>7-405 教室へWINPC増台(5台)</li> <li>高精細書画カメラ導入</li> <li>絵画専攻展示用白パネル導入</li> <li>絵画専攻折りたたみチェア75脚導入</li> <li>10号館版画工房自走式メゾチント目立て機導入</li> <li>彫刻専攻エアブラズマ切断機導入</li> <li>アニメーション撮影台改造(8台)</li> </ul>
学生生活 環境整備	学生サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺失物・拾得物の取り扱いを警備受付に外部委託</li> </ul>
	排水・防水工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>7号館1~4階通路防水処理工事</li> <li>8号館漏水対応排水管処理工事</li> </ul>
	その他設備更新 (老朽化対応)	<ul style="list-style-type: none"> <li>7号館地下スタジオ除湿機更新</li> </ul>
	コロナ禍感染防止 対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠隔授業におけるGoogle社のG Suite Enterprise for Educationの契約、利用</li> <li>サーモグラフィカメラの導入</li> <li>講義教室、PCルームにおける各席間の飛沫防止パーテーションの設置</li> <li>食堂、カフェテリアにおける各席間の飛沫防止パーテーションの設置</li> <li>各教室入口及び窓への網戸の設置</li> <li>学内各所へ消毒液の設置</li> <li>委託業者による教室内の消毒作業</li> </ul>
ICT環境 の整備	無線アクセス ポイント増設・更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>1~13号館(35ヶ所増設)、接続品質の向上</li> </ul>
	LAN品質改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット接続回線追加による外部接続の増速化</li> </ul>
その他、日常的な清掃・整備		

## ■ 自己点検・評価の取組み

---

自己点検・評価の取組みとして、以下を実施しました。

### 1. 「在学生アンケート」の実施

新型コロナウイルス感染防止対応により、実施を見送りました。

### 2. 大学機関別認証評価受審

2020年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、同機構から「機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定されました。

# 専門学校桑沢デザイン研究所の主な事業報告

— 中期実行計画 2020「教育改革」・「戦略的運営」 —

2020年度事業計画に記載した事業及びその他事業について実施・対応事項を示します。

## 2020年度の計画事業

- 学生募集の強化
- キャリア支援の強化
- 教育力の強化
- 研究の研鑽
- 学生サポートの充実
- 国際交流の推進
- 社会連携・貢献の強化
- ブランド戦略・情報発信の強化
- キャンパス整備

## その他事業

- リスク管理機能の徹底

## ■ 学生募集の強化

以下に、学生募集に向けた実施・対応事項を示します。

### 1. 2021年度入試結果(2020年度実施)

#### (1) 総合デザイン科(昼間部)

推薦入試、一般入試

学 科	募集人員	入学者数			
		推薦入試	一般入試 A	一般入試 B	合計
総合デザイン科	160	129	43	8	180

※推薦入試は自己推薦(A0型)、自己推薦、指定校含む

#### 編入学試験(2年次)

専 攻	募集人員	入学者数
プロダクトデザイン	若干名	2
スペースデザイン		2
ファッションデザイン		1

(2)専攻デザイン科(夜間部)

専攻	募集人員	入学者数			
		推薦入試	一般入試 A	一般入試 B	合計
ビジュアルデザイン	160	44	32	9	85
プロダクトデザイン		13	12	6	31
スペースデザイン		12	6	4	22
ファッションデザイン		3	3	0	6
計		72	53	19	144

※推薦入試は自己推薦、指定校含む

(3)附帯教育(夜間部)

	募集人員	入学者数
基礎造形専攻	40	45
基礎デザイン専攻	40	45

2. AP(アドミッション・ポリシー)の公表

2018年度に策定した全学的なアドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)を公表し、本校の入学者受け入れ方針により合致する学生の獲得を図りました。

また、教育上の目的を達成するために、カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)、ディプロマ・ポリシー(卒業認定の方針)を策定し、公表しました。

3. 学生募集活動

以下のとおり学生募集活動を実施しました。

区分	実施項目	活動内容
学外活動	学生による 母校訪問	在校生が本校の学校案内を持って出身高校を訪問し、進路指導の教員や後輩へ本校の授業内容や学生生活等に関する説明をする企画を計画していたが、新型コロナウイルスの影響で、見合わせた。
	進学 ガイダンス	高校生対象の進学ガイダンスへの参加
	外部会場 合同説明会	デザイン、美術系大学・専門学校が行う説明会への参加予定だったが、7件が中止。
	外国人留学生 対象の ガイダンス	美術・デザイン系の教育を行う日本語学校の進学ガイダンスへの参加
	外国人留学生 対象の 外部説明会	外国人留学生対象の外部説明会への参加を計画していたが、新型コロナウイルスの影響で、企画自体が無かった。

学内活動	入学説明会	新型コロナウイルス感染防止の観点から、事前予約制で人数制限を設け、実施内容についても、密を回避するため個別対応のプログラム（個別相談、作品展示、学内見学ツアー）での実施とした。
	オープンキャンパス	新型コロナウイルス感染防止の観点から、来場（対面）型の開催を見合わせた。その代替措置として、所長挨拶、カリキュラム説明、分野説明等の動画コンテンツを盛り込んだ Web オープンキャンパスのページを設置した。
	卒業生作品展	新型コロナウイルス感染防止の観点から、人数制限を設け事前予約制での開催。3日間の予約枠が全て会期前に埋まり、総来場者数は2,083名。（2016年度：3,566人、2017年度：4,200人、2018年度：4,328人、2019年度：新型コロナウイルスの影響により中止）
	高校からの見学会	教育内容・入試に関する説明、施設案内等を実施予定だったが、新型コロナウイルスの影響で、全て中止となった。
	オンライン個別相談会	新型コロナウイルス感染防止の観点から実施を見合わせた、説明会、オープンキャンパス、学校見学の代替措置として、オンライン会議システム（Zoom）を利用した個別予約制のオンライン面談を、1年間を通して 220 回実施した。
	学校見学（個別対応）	例年、教育内容・入試に関する説明、施設案内等を実施しているが、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、受付をしないことを基本とした。

#### 4. 広報機能の強化

2021年度に、夜間部教育課程を社会人が働きながら学びたいというニーズに応えるための修学しやすい教育プログラムへ改編します。

学生募集に限定せず、本校の教育プログラムを広く告知することを念頭に、以下の広報機能を強化しました。

実施項目	実施内容	
Webを用いた広報の強化	公式 Web サイトでの夜間部専攻デザイン科に関する情報発信	動画コンテンツを中心とした、夜間専攻デザイン科募集のための特別のランディングページ（夜間特設サイト）を公開
	夜間特設サイトへの流入を目的とした、バナー広告の掲出	デザイナーなどのクリエイションに関わる人々が利用するポータルサイトや、デザイン業界への就職を支援しているポートフォリオサイト等にバナー広告を掲出した。JDN、はたらくビビビット、Study by 美術手帖。
	夜間特設サイトへの流入を目的とした、各種リスティング・リターゲティング広告の掲出	代理店を介して、Google リスティング広告、Google ディスプレイ広告、Instagram 広告、Twitter 広告、YouTube 広告などを掲出した。
ソーシャルメディアを用いた広報の強化	Twitter、Instagram、Facebook などのソーシャルメディアを用いたステークホルダーへの情報提供と、広範的な情報発信。1年間（2020年4月3～2021年3月31日）の投稿数、フォロワーの増加推移は以下の通り。 Twitter 投稿数(326)、フォロワー増加推移(1,271 → 1,984) Instagram 投稿数(202)、フォロワー増加推移(1,524 → 2,400) Facebook 投稿数(188)、フォロワー増加推移(2,176 → 2,262)	
SNS広告	Instagram 広告を開始した。	

大学生向け ネットワークボード (中止)	新型コロナウイルスの影響により、大学に通学している学生数が少ないことから掲出を見合わせ、Web 広告への展開に切り替えた。 実施予定内容:1都 3 県に所在する大学キャンパスの校門前・通学路沿いのボード (H1.8×W3.6m/1 面/1 ヶ月/20 か所) への広告掲載。大学卒業後の学び直しを喚起させる。
駅看板の意匠変更 (中止)	新型コロナウイルスの影響により、駅の利用者が減少していることから意匠変更を見合わせ、予定していたデザイン費を夜間特設サイトの充実にあてた。 実施予定内容:駅看板の意匠を定期的(年 3 回)に変更することで印象付ける。
イベント予約システム (OCANs)の活用	入学説明会やオンライン個別相談会の予約受付や、申込者のデータ管理に活用している。また、同システムは、在学生のキャリアカウンセリング予約や、新型コロナウイルス感染防止対策で利用者制限をしている校内施設の予約システムとしても活用している。
接触者データの活用	システム導入によって、資料請求及びイベント参加のデータを、広報計画策定や、出稿媒体選定などに有効に活用している。
「卒業生作品展」の 広報強化	渋谷 MODI 大型ビジョンにて 15 秒の告知動画を放映。期間:2/22(月)~28(日)、9~18 時毎時 9 回
	新聞広告を掲出。毎日新聞東京版、半 2 段モノクロ。掲出日:2/18(木)
	公式 Web サイト内に、卒業生作品展の特設サイト設置。各種公式 SNS での告知。
	代理店を介して、Instagram、Facebook への広告掲出。 バナー広告掲出。美術手帖 Web、JDN、はたらくビビビット。

## 5. 外国人留学生対応

増加傾向にある外国人留学生の安定的な確保を図るため、以下を実施しました。

- (1) 日本語学校教員に向けた冊子への情報掲載、日本語学校掲示される入試カレンダーに広告を掲載。
- (2) 日本語学校内でのガイダンスに参加。

## ■ キャリア支援の強化

以下に、就職率の向上に向けた実施・対応事項を示します。

### 1. 2020年度就職率(就職者/就職希望者)

就職率は以下のとおりです。

学科/コース		2021年3月卒業生 (2021年3月31日時点)				2020年3月卒業生 (2020年3月31日時点)			
		就職率	就職者	希望者	学生数	就職率	就職者	希望者	学生数
総合デザイン科	ビジュアルデザイン	51.5%	51	101	104	56.6%	64	113	119
	プロダクトデザイン	55.2%	16	29	31	40.9%	9	22	24
	スペースデザイン	20.8%	5	24	26	35.3%	6	17	18
	ファッションデザイン	54.5%	6	11	14	63.6%	7	11	12
	学科合計	47.9%	78	165	175	52.8%	86	163	173
デザイン専攻科	ビジュアルデザイン	26.2%	16	61	63	37.5%	23	64	68
	プロダクトデザイン	34.8%	6	23	28	23.5%	4	17	17
	スペースデザイン	26.7%	3	15	16	33.3%	2	6	7
	ファッションデザイン	0.0%	0	3	7	33.3%	2	6	8
	学科合計	27.5%	25	102	114	34.4%	31	93	100
合計		40.1%	103	267	289	46.1%	117	256	273

### ※ 補足 2020年度進学率(進学者/卒業生)

進学率は以下のとおりです。

学科	2021年3月卒業生 (2021年4月1日時点)				2020年3月卒業生 (2020年4月1日時点)			
	進学率	大学 進学者数	その他 進学者数	卒業生数	就職率	大学 進学者数	その他 進学者数	卒業生数
総合デザイン科	1.1%	2	0	175	0.0%	0	0	173
デザイン専攻科	0.0%	0	0	114	0.0%	0	0	100
合計	0.0%	0	0	289	0.0%	0	0	273

## 2. 就職支援プログラムの実施

以下の就職支援プログラムを実施しました。

実施項目	実施内容
キャリア カウンセリング	<p>【キャリアカウンセラーによるカウンセリング】 デザイン分野に精通したカウンセラーによる個別の就職相談。 カウンセリングシートへ相談履歴を記録し、継続的・段階的に対応している。</p> <p>【就職担当者によるカウンセリング】 ・オンライン会議システムでの実施となった。(1日2コマ/予約制)</p> <p>【女性アナウンサーによるカウンセリング】 ・話し方や発声の指導(1日4コマ/予約制)</p>
就職セミナー	<p>専門の講師による就職活動のレクチャー(説明会、対策講座等)の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生対象セミナー(新型コロナウイルス感染症のため中止)</li> <li>・昼間部2年生・夜間部1年生対象セミナー(全10回/オンデマンド配信4回・ライブ配信6回/就活のためのポートフォリオの作り方、自己分析指導、面接練習、企業の人事担当者を招いてのパネルディスカッション等)</li> <li>・ファッションデザイン分野学生対象就職セミナー(2回/ライブ配信)</li> <li>・留学生対象の就職ガイダンス(2回/ライブ配信)</li> <li>・墨田区協力「ものづくり企業・仕事説明会」(1回/ライブ配信)</li> </ul>
企業訪問	<p>内定企業や卒業生の在籍する企業への訪問 (企業との良好な関係維持・企業情報の共有・蓄積)</p>
企業へのポート フォリオ公開	<p>学生情報統合管理システム「School Leader」の「学生Webポートフォリオ管理機能」を活用し、学生がWeb上に登録したポートフォリオに関する情報を企業に発信し、求人につながる方策を検討した。</p>
学内企業説明会	<p>求人企業による学内での説明会(単独、合同)。 求人の説明を聞くだけでなく、企業の採用担当者や現場のデザイナーと直接接することで業界についての理解を深める機会</p>
正課内 プログラム による就職支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートフォリオ制作指導</li> <li>・ファッションアパレル分野に特化したセミナー</li> </ul>
支援環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアカウンセリング予約のオンライン化</li> <li>・就職コーナー利用予約のオンライン化(新型コロナウイルス感染症予防対策のため人数制限を実施)</li> <li>・新型コロナウイルス感染症のため来校できない学生に向けた架電でのフォロー</li> <li>・内定者の就職活動記録による情報提供</li> <li>・関連図書の充実</li> <li>・閲覧用ポートフォリオの整備</li> </ul>

担当者による 相談対応	就職相談、応募書類添削、面接練習等(新型コロナウイルス感染症に伴い、メール・オンライン会議システム・電話での指導)
就職支援誌 「job/job13」 作成、配付	・デザイン分野に特化したオリジナル就職活動支援誌 ・内定者の就職活動情報等、本校に特化したコンテンツを掲載

### 3. 企業情報の共有強化

学内企業説明会や企業面談の記録を報告書として作成し、関連分野の教員との間で情報を共有することで、教員と職員が連携を取りながら、学生一人ひとりの適性に合わせた就職支援を実施しました。

### 4. 就職支援システムの充実

学生情報統合管理システム「School Leader」の就職支援システムを学籍管理システムと連動させ、企業からの求人情報をWebで開示しています。また、教職員が学生個々の就職活動状況を確認し、進路指導に役立てています。

## ■ 教育力の強化

以下に、教育力の強化に向けた実施・対応事項を示します。

#### 1. 遠隔授業の実施

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、急遽、遠隔授業を実施しました。Google社のG Suite Enterprise for Educationの利用と、授業、課題制作に必要な教材等を発送することで、当初計画していた授業内容に相当するような授業を行いました。  
後期からは、活動指針の「活動制限レベル」に沿って、校舎内の滞留者数を制限して、段階的に対面授業に切り替えて行いました。

#### 2. デザイン専攻科(夜間部)の教育課程改編

働きながら学び、通学しやすくするための教育課程を検討し、学則変更届を申請・受理されました。2021年4月1日より、専攻デザイン科へ改称し、改編した教育課程を開講します。

#### 3. 新たな附帯教育(1年制の教育プログラム)設置

新たな附帯教育の課程として、「基礎デザイン専攻」を開設しました。

#### 4. 日本語会話を学ぶ授業科目の開設

日本人学生とのグループワーク等を円滑に進めるため、2020年度より外国人留学生に対して日本語会話を学ぶ授業科目を開講しました。

#### 5. FD活動の実施

以下のFD活動を実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、中止しました。

実施項目	実施内容	実施時期
リスクマネジメントの観点から SNS 対策講演会	SNS の基礎知識から、利用する際のルールやリスク、炎上のメカニズム、対策などを、キャンパス内で起こりうる事例や対策について講演	3月 中止

## 6. 教育成果発信のための事業

教育成果の発信に向け、以下を実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、卒業生作品展以外は中止しました。

実施項目	実施者	開催時期
「エレメントデザイン」 授業成果発表展	スペースデザインコース	4月 中止
授業科目「卒業制作」 各ゼミ中間発表展	プロダクトデザイン専攻他	9月 中止
ファッションショー	ファッションデザイン専攻、 ファッションデザインコース	10月 中止
卒業生作品展	総合デザイン科(昼間部)3年、 デザイン専攻科(夜間部)2年	2月 実施
基礎造形専攻修了作品展	基礎造形専攻(附帯教育)	3月 中止

## ■ 研究の研鑽

以下に、研究の研鑽に向けた実施・対応事項を示します。

### 1. 「研究助成制度」の運用

「研究助成金制度」を運用し、以下の研究活動を行いました。

事業名称	実施者 (分野)	概要
「きたれ、 バウハウ展」 の展示、記録	小関潤 (造形分野)	制作協力依頼を受け参加している「きたれ、バウハウ展」について、会場での展示、記録を行った。
椅子の研究	大松俊紀 (SD 分野)	住環境の設計において密接な関係が欠かせない椅子のデザインについてその新たな在り方・可能性の研究に取り組んでおり、実制作することでその成果を学生に授業を通して伝えた。
カクテル ドレスの制作 依頼	辺見小百合 (FD 分野)	特殊素材でオートクチュールのカクテルドレスを仕立て、市販のプラタポルテとの縫製技法と仕様の違いや、特殊素材の扱いなどについて研究を行った。
パッケージデ ザインに関わ る研究	永沼真一郎 (VD 分野)	今後のパッケージデザイン教育への反映を目的とし、生活の中および環境問題に関係するパッケージデザインの調査と研究するため、都内や地方でのパッケージデザインに関わるセミナーへ参加することを想定していましたが、JPDA(日本パッケージデザイン協会)の今年度会議テーマが、想定していた研究テーマとは離れたものになったことから、研究自体を中止しました。

### 2. 教員研修制度

教員の研究成果を取りまとめた研究レポートを刊行するとともに、ウェブサイトに掲載しました。

## ■ 学生サポートの充実

以下に、学生サポートの充実に向けた実施・対応事項を示します。

### 1. 学生のメンタルケアの充実

学修や学生生活に関する相談、メンタルケアのためのカウンセリングを、以下のとおり実施しました。なお、臨床心理士によるカウンセリングは、新型コロナウイルスの影響により、登校が可能となった以降に対応しました。

実施項目
臨床心理士によるカウンセリング(面談)
精神科医によるカウンセリング(面談・診療)
電話カウンセリング(本校専用ダイヤル)
Webカウンセリング(メール)

### 2. 学生サポート研修会の実施(教職員向け)

教職員向けに、以下のSD研修会を実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、中止しました。

- ・ テーマ:「リスクマネジメントの観点からSNS対策講演会」(中止)

### 3. 保護者と連携した学生支援

学生情報統合管理システム「School Leader」の閲覧権を保護者に付与し、学生の成績や出欠状況等を確認できるよう運用機能を追加したことにより、保護者と連携した学生支援体制を整えました。

### 4. 奨学金制度の充実

経済的な理由により修学が困難になった学生を対象に、以下のとおり奨学金を給付しました。

区分	名称	奨学金の概要	給付者数	給付額 (1人当たり)
研 究 所	桑沢デザイン 研究所奨学金	経済的事情により学費を納付することが困難で学業成績、人物共に優秀である者への奨学金授与	15名 (総合デザイン科3年生、 デザイン専攻科2年生)	総合デザイン科3年生: 45万円 デザイン専攻科2年生: 23万円
	桑沢デザイン 研究所 編入学生奨学金	本校デザイン専攻科卒業見込者、同系大学等卒業又は卒業見込み者が、総合デザイン科2年次へ編入した場合に奨学金授与	6名 (総合デザイン科 2年生)	総合デザイン科2年生: 学外からの編入学生 15万円 学内からの編入学生(30 万円)は該当者無し
	所長賞	学外で実施される著名なデザイン専攻科コンテストへの参加を奨励するため、優秀な賞を受賞した学生を表彰	4名 (総合デザイン科3年2名、 デザイン専攻科1年1名・2 年1名)	在学生:各5万円

	学修支援金	新型コロナウイルス禍での遠隔授業に対し、機器等を揃えてもらうことを念頭に、学修支援金として全学生を対象に支給	昼間部 575 件/夜間部 287 件/附帯教育単独 56 件/附帯教育複数 13 件	昼間部各 5 万円/夜間部各 3.5 万円/附帯教育単独各 3 万円 附帯教育複数各 3.5 万円
--	-------	--	---	---

## 5. 留学生への支援

留学生への就学支援の一環として、4月にオリエンテーションを開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響のため中止し、個人情報アンケートと日本での学生生活に関する資料および冊子を送付しました。

また、2月には就職担当と連携し、卒業後、就職時・就職活動時に必要となる在留資格の変更に関する申請手続き等について指導する説明会をオンラインで実施しました。

## 6. 課外活動への資金援助

学生の課外活動支援の一環として、文化祭「桑沢祭」開催への助成を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響のため、「桑沢祭」は中止となりました。

## 7. 高等教育の修学支援新制度の対象機関としての認定

授業料・入学金の減免と返済不要の給付型奨学金が支給となる、高等教育無償化の対象機関としての適格要件を満たし、認定を受けました。

## ■ 国際交流の推進

以下に、国際交流に関する実施・対応事項を示します。

### 1. バウハウス・デッサウ財団との連携強化

#### (1) バウハウスツアー

バウハウス・デッサウ財団の協力により、バウハウス・デッサウ校の建物見学、ワークショップの実施、学生寮の宿泊、市内名所見学等を通して、バウハウス教育の一端を体験するツアーを、2021年3月下旬に実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響を受け中止としました。

### 2. Y SHOWへの参加

第5回Y SHOWは、新型コロナウイルスの影響のため、中止となりました。

### 3. 留学生指導に関する研修への参加

東京都主催の「留学生に対する生活指導等講習会」に参加し、担当職員の留学生指導に関する知識の向上と、留学生サポート体制の強化を図る予定でしたが、新型コロナウイルスの影響を受け中止としました。

## ■ 社会連携・貢献の強化

---

以下に、社会連携・貢献の強化に関する実施・対応事項を示します。

### 1. 社会連携事業「渋谷みやげ開発プロジェクト」(通称:シブヤフォント)<sup>4</sup>の継続実施

2016年度より、渋谷区・障害者就労施設・本校の連携による新製品の開発事業「渋谷みやげ」に取り組んできました。障がい者理解に向けたソーシャルアクション「障がいのある人が描く文字や絵柄をフォント・パターン化したパブリックデータ『シブヤフォント』」は、2019年度には公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「グッドデザイン賞」を受賞し、2020年度には「ソーシャルプロダクト・アワード 2021 大賞」と「IAUD 国際デザイン賞金賞」をダブル受賞しました。

### 2. デザイナーや企業の協力による学内展覧会

学生へのデザイン教育の一環として、デザイナー作品展やデザインコンペティション受賞作品展等を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響を受け中止としました。

### 3. 「第5回全日本高校生デザイングランプリ」の開催

高校との接続教育の一環として実施していた「全日本高校生デザイングランプリ」は、新型コロナウイルスの影響を受け中止としました。

## ■ ブランド戦略・情報発信の強化

---

以下に、ブランド戦略・情報発信の強化に関する実施・対応事項を示します。

### 1. 教育の使命・目的の明確化

高等教育機関の無償化を図る大学等修学支援法による修学支援の対象機関としての適格要件を満たすために、自己評価を実施して、学校自己評価報告書を作成しました。自己評価実施にあたっては、私立専門学校等評価研究機構が定める「専修学校における学校評価ガイドライン」の評価基準を基に検証を行い、評価基準にある『教育理念・目的・育成人材像』として、教育の使命・目的を明確化しました。

### 2. 公式ウェブサイトでの「自己評価報告書」「学校関係者報告書」の情報発信

自己評価を実施して、「学校自己評価報告書」を刊行し、公式ウェブサイトにより公開しました。また、自己評価結果を踏まえた学校関係者評価を実施して、「学校関係者評価報告書」を刊行し、公式ウェブサイトにより公開しました。

### 3. シラバスの公表

授業の内容、到達目標、成績評価の基準や方法を記載したシラバスを公表しました。

### 4. 公式ウェブサイトでの「卒業生作品展」の情報発信

「卒業生作品展」の作品を学外に広く情報発信することにより、ブランド力を高め、学生募集、企業からの求人への活用を図ってきました。新型コロナウイルスの影響を受け開催が危ぶまれていたので、実展示とウェブサイトでの展示を並行して準備しました。ウェブサイトでは、インターネット上のバーチャル空間を設定して、アーカイブの機能も持たせることで、来場者と同様の鑑賞を体感してもらいました。

---

<sup>4</sup>渋谷の障害者支援施設で働く障害のある人が描いた文字、数字、絵等を、本校学生がフォントやグラフィックパターンとしてデザインし、デジタルファブリケーションの手法を活用しながらさまざまなプロダクトに活用することで、障害者に新しい収益を生み、渋谷を代表する新しいお土産を生み出そうとするプロジェクト

5. 公式ウェブサイト、SNS 等を用いた情報発信  
新型コロナウイルス禍にできることとして、公式ウェブサイト、SNS等も用いた情報発信を強化しました。
6. 「KUWASAWA Creative Hub(クワサワ・クリエイティブ・ハブ協議会)」による事業の展開  
西武渋谷店より、2020年2月に中止になった卒業生作品展に代わる展示について、店舗内で開催出来ないか打診を受け、関係する委員会と調整を図り実施しました。  
また、2021年5月に開催が企画されている「Japan Creative」への参加について打診があり、参加に向けて調整しました。

## ■ キャンパス整備

以下に、キャンパス整備に関する実施・対応事項を示します。

### 1. 施設整備

以下の施設・設備について、新設・更新を行いました。

目的	実施事項	備考
学修環境整備	遠隔授業用機材拡充	遠隔授業に対応すべく、機材を拡充。
学生生活環境整備	老朽化した校舎の修繕	年次計画による校舎の内装美化として、共有部分(廊下、階段、手すり、エレベーターホール、屋上、校舎入口)の内装美化工事を実施。
	設備更新・メンテナンス	空調フィルター(2種)定期交換、換気扇の大規模清掃、大型空間清浄機の導入によるウィルス・感染症対策を実施。
	屋上電気設備機械ボックス修繕工事	関東電気保安協会による定期点検時に、機械ボックスの経年劣化による雨漏りが発生していることが判明したため、補修と換気扇の追加工事を実施。
	工作室内塗装ブースの排水用水槽の修繕工事	工作室内塗装ブースの排水用水槽が経年劣化していることが判明したため、修繕工事を実施。
学生生活環境整備	コロナ禍感染防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔授業におけるGoogle社のG Suite Enterprise for Educationの契約、利用</li> <li>・遠隔授業におけるZoom Video Communications社のビデオ会議システムZoom Educationの契約、利用</li> <li>・遠隔授業におけるDropbox JapanのDropbox Educationの契約、利用</li> <li>・サーモグラフィカメラの導入</li> <li>・教室、コンピュータ室における各席間の飛沫防止パーテーションの設置</li> <li>・学生ホールにおける各席間の飛沫防止パーテーションの設置</li> <li>・コンピュータ室に滅菌UVボックスを設置</li> <li>・学内各所へ消毒液の設置</li> <li>・委託業者による教室内の消毒作業</li> </ul>

## ■ リスク管理機能の徹底

---

以下に、リスク管理機能の徹底に関する実施・対応事項を示します。

### 1. リスクマネジメントの観点から SNS 対策講習会の実施

SNS の基礎知識から、利用する際のルールやリスク、炎上のメカニズム、対策などを、キャンパス内で起こりうる事例や対策について講演会を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として中止しました。

### 2. 危機管理マニュアルの整備

都度毎に制作、点在していた各種マニュアル(フロア案内・避難経路図、不審者発見対応マニュアル(平常時およびイベント時)、セキュリティロック対応マニュアル、防犯器具設置個所、防犯安全器具について学校編、地震時行動マニュアル、イベント展示等安全チェックリスト、消火栓・サイレンについて、弾道ミサイルへの対応について、消防計画(2020)を、専門学校桑沢デザイン研究所危機管理マニュアル集として編集し、グループセッションにて共有しました。

### 3. 消防訓練の実施

例年、新入生を受け入れた直後に実施していましたが、新型コロナウイルスの影響により、中止しました。

## 中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況

2020年度は世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業、特に対面を伴う学生募集活動、キャリア支援活動、学内外での行事を中止や延期とし、規模や運営方法を変更し、感染防止対策を整え実施に至るといった場面もありました。

授業運営においては、前期はオンラインでの遠隔授業運営とし、後期は対面授業を一部再開し、遠隔授業との併用で実施いたしました。

また、新型コロナウイルス感染症防止対策を行わなければならないことから、キャンパス整備等、予定していた計画の一部を見送り、遠隔授業の対応や新たな奨学金の支給等、教育環境を整え、学修環境を充実させる施策を実施いたしました。今年度予定していた計画で見送りとした事業については、次年度以降に再度計画の検討を行い実施することとします。

2021年度以降は、2020年度に新たに策定した以下の「次期中期計画(Road to 2025:2021-2025)」に基づき、持続可能な経営による造形教育の社会寄与を理念として、各実施項目の実行に努めてまいります。

### 桑沢学園 中期計画(Road to 2025:2021-2025)

#### 経営理念

持続可能な経営による造形教育の社会寄与

#### 建学の精神

『造形』教育の探求＝社会・人間・精神と実用

東京造形大学 「社会をつくり出す創造的な造形活動の探究と実践」

桑沢デザイン研究所 「未来へ向かっての人間の精神的・物理的両面からの要求に応える人材育成」

#### 中期テーマ

1. 表現を通じて私と他者を発見する造形教育の実践
2. 対話が生まれる自由闊達な空間づくり
3. 教育成果の社会発信と知識循環
4. 多様な価値観を基盤にした仕事環境づくり
5. 社会変動に迅速に対応するリスク管理

## 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

学園として、安定的且つ持続的な運営を行うために、計画的な基本金組入や、資産運用、減価償却引当資産の積立を、継続して行ってまいりました。

今年度は、コロナ禍という未曾有の状況の中、新型コロナウイルスの感染症予防の徹底を図るための費用を投じ、学生及び教職員の安全に全力を注ぎました。

また、このような中でも、教育の質の確保のために、当年度の事業実施計画の見直しを図り、遠隔授業等の対応や学生への奨学金の支給、卒業制作展ウェブ化等の費用を投じ、学修環境の満足度を維持する施策を実行いたしました。

その結果、今年度決算において、事業活動収支計算書における教育活動収支差額は 1 億 6,000 万円、経常収支差額は 3 億 2,879 万円となり、単年度収支である基本金組入前当年度収支差額は、3 億 865 万円となりました。

今後、東京造形大学、桑沢デザイン研究所ともに、キャンパスの修繕や維持費用については一定年数が経っており施設設備の中長期的な修繕計画が課題となっています。東京造形大学については、第 2 号基本金の組入や既存設備の修繕や改修、また桑沢デザイン研究所は空調設備等の入れ替え計画など、改修の必要性が生じる予定です。

2021 年度策定の桑沢学園中期計画の基本方針に基づき、単年度の収支のプラスを継続的に維持し、教育費用及び施設設備の維持費用への支出を確保するよう努めてまいります。